

第5章 櫛田川の川づくりの進め方

1 関係機関、地域住民との連携

流域の豊かな自然環境、地域の風土・文化を踏まえ、魅力的で活力あふれる地域づくりの軸となる櫛田川とするため、沿川の自治体が立案する地域計画との連携・調整を図りつつ、河川に関する情報を幅広く提供するとともに関係自治体とともに地域の団体・ボランティア等の地域づくりの活動との連携・支援を積極的に推進し、地域住民や関係機関などと一体となった協働作業による河川整備を推進する。

また、河川環境保全モニター制度*などを積極的に活用し、地域住民等からの河川に関する情報が収集できるように努める。

* 河川環境保全モニター制度・・・川づくりに熱意ある地域住民にモニターになって頂き、河川環境の情報の把握、保全、創出及び秩序ある河川利用について、随時河川管理者に助言を頂く制度

2 地域住民の関心を高めるための広報活動

魅力的で活力あふれる櫛田川の川づくりを進めるには、地域住民の目を櫛田川に向けてもらうことが重要である。このためインターネットやマスコミ等の情報ツールを活用し、櫛田川の情報発信を図り地域住民との合意形成に向けた情報の共有化、意見交換の場づくりを図るなど関係機関や地域住民等との双方向のコミュニケーションを推進する。

さらに、水生生物調査など自然体験活動等の機会を通じて身近な自然である櫛田川に親しみ、将来を担う子供たちへの環境教育を積極的に支援するなど、広く地域住民に櫛田川に対する関心を高めるための活動を行う。



広報誌「ミエール」



蓮ダム広報誌「はちゅーす」



三重河川国道事務所ホームページ

図 5-1 広報活動